

全ての参加者のためのスポーツマンシップと行動規範

スポーツマンシップとは、認識と実践の両方において、他者に対する寛容で心から配慮をする資質／人柄として定義されます。スポーツマンシップの理想は、スペシャルオリンピックス ユニファイドスポーツ競技会において常に実現されるべきものです。活動において果たす役割に関わらず、各個人は他者に対する行動が及ぼす影響に気を配り、良いスポーツマンシップのモデルとなることを期待されています。

コーチに対して期待されること

- ・ 参加者とファンが模範とするよう、常に良いお手本になること。
- ・ 参加者に対して適切なスポーツマンシップの責任を指導し、スポーツマンシップと倫理を最優先事項として位置づけるよう参加者に対して求めること。
- ・ 競技役員による審判に対して敬意を払い、競技会ルールに従い、ファンの感情をあおりたてるような行動を示さないこと。
- ・ 相手チームのコーチや監督、参加者、ファンに対して敬意をもって接すること。
- ・ 公の場面で、競技役員および相手チームのコーチと握手を行うこと。
- ・ スポーツマンシップ基準に従わない参加者に対しては、それを明らかにし、ペナルティを課すること。

アスリートとパートナーに対して期待されること

- ・ チームメイトに対して敬意をもって接すること。
- ・ チームメイトがミスをした時には、励ますこと。
- ・ 相手に対して敬意をもって接すること。競技会の始まりと終わりには握手をすること。
- ・ 競技役員による審判に対して敬意を払い、競技会ルールに従い、ファンの感情をあおりたてるような行動をしないこと。
- ・ 審判、コーチや監督および参加者と共に、公正な競技会を行うよう協力すること。
- ・ もし他のチームが良くない行動をしても、それに対して仕返しをしない(言葉でも、身体的にも)。
- ・ スペシャルオリンピックスを代表するという責任と名誉を真摯に受け止めること。
- ・ 勝利とは自分のベストを尽くすことであると定義すること。
- ・ 自分のコーチによって築かれた高い基準のスポーツマンシップに従って行動すること。

「私はユニファイドスポーツチームでプレーしています。プレーすることが大好きなら、チームに志願するべきです」 - ユニファイドスポーツ アスリート Matt Boone